

授業科目	栄養教育論実習Ⅱ					実務家教員担当科目	○				
単位	1.	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	森山 美加代										
授業概要	<p>栄養問題が多様化、複雑化する中で個人に対する栄養管理の重要性は広く認められるようになった。そのため、臨床では栄養ケア・マネジメントや栄養管理プロセスが導入され、実践されている。特に、個人栄養教育を行う中で、対象者の食生活の状況やその背景といった様々な情報から問題点を整理し、栄養診断を行うことが、その後の患者やクライアントの個々の特性を生かした個別の栄養管理（目標設定や栄養教育）に大きな意味を持つ。</p> <p>本科目では、実務家教員として病院勤務経験を有し、栄養管理プロセスについて解説し、その一連の流れを実践することにより臨床における栄養教育に求められる基本的なスキル修得を目的とする。さらに、傷病者に対する食事療法を支援する集団栄養教育の模擬指導を行い、臨床における栄養教育マネジメントの実際について学ぶ。</p>										
授業形態	講義・演習					授業方法	グループワーク、PBL(課題解決学習)				
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育のマネジメントサイクルを説明・実践することができる(DP-1-2) 2. 病態、食事療法について理解し、目的に沿ったアセスメント項目を選択、アセスメントを実施、課題を特定、目標設定を行うことができる(DP-2-1) 3. 対象者へ目標を達成するための適切な栄養教育プログラム案を立案できる(DP-2-1) 4. 栄養教育に必要とされるカウンセリングを実施することができる(DP-3-1) 5. ロールプレイングを通して、臨床における個人栄養教育、集団栄養教育の流れを理解することができる(DP-4-2) 6. グループ学習を通して多職種協働を理解し、コミュニケーションスキルを獲得することができる(DP-5-1) 										
理想的レベル	標準的レベル1~6の全てを達成したうえで、本実習以外の対象についても応用することができる										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合(数値)					備考				
試験											
小テスト											
レポート											
発表(口頭、プレゼンテーション)		55%									
レポート外の提出物		35%					演習や課題で実施する指導計画等				
その他		10%					演習や課題への積極的な取り組み				
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT22104J
										ゲ	

学習課題（予習・復習）		1回の学習目安 （時間）
各回のテーマの内容について事前に調べ予習する。授業後は、授業内容を復習して課題に取り組む。		0
授業計画		
第1回	テーマ：オリエンテーション 臨床における管理栄養士の専門性と栄養管理に関するマネジメントシステム（NCM・NCP）について解説し、特に重要な栄養状態の評価・判定について、症例を用いて演習する	
第2回	テーマ：対象者の実態把握1(身体計測等) 身体計測等の指標により得られた結果から、栄養状態の評価・判定、問題点の把握を行う	
第3回	テーマ：対象者の実態把握2(食事調査) 24時間思い出し法による食事調査を行う	
第4回	テーマ：対象者の実態把握3（必要量の算定） 栄養素等必要量を算定し、身体計測・食事調査・栄養素等必要量等の各種パラメータを総合的にアセスメント（評価・判定）を行う	
第5回	テーマ：個別栄養教育の問題抽出と計画1 対象者のアセスメント結果から、栄養管理計画（栄養教育含む）を作成する	
第6回	テーマ：個別栄養教育の問題抽出と計画2 栄養教育に使用する媒体について解説し、各自ロールプレイングに用いる媒体を作成する	
第7回	テーマ：個別栄養教育の問題抽出と計画3 ロールプレイングに用いる媒体作成を進行し、各自シミュレーションを行う	
第8回	テーマ：個別栄養教育の実施とその評価1 模擬個人栄養教育を体験する（ロールプレイング）	
第9回	テーマ：個別栄養教育の実施とその評価2 栄養教育実施後のモニタリング、再評価について解説し、栄養ケア記録を完成させる	
第10回	テーマ：臨床における集団栄養教育1 集団（学習者）の栄養の課題を整理し、テーマ設定に基づいた栄養教育計画書と指導案を作成する	
第11回	テーマ：臨床における集団栄養教育2 集団栄養教育に使用するプレゼンテーション資料（スライド、リーフレット等）作成のポイントについて解説し、作成する	
第12回	テーマ：臨床における集団栄養教育3 集団栄養教育に使用するプレゼンテーション資料（スライド、リーフレット等）を作成する	
第13回	テーマ：臨床における集団栄養教育4 集団栄養教育に使用するプレゼンテーション資料作成を進行し、各班でシミュレーションを行う	
第14回	テーマ：臨床における集団栄養教育5 模擬集団栄養教育を実践し、グループによる振り返りを行う	
第15回	テーマ：臨床における集団栄養教育6 模擬集団栄養教育の実践し、グループによる振り返りを行う	
テキスト	必要に応じて資料を配布する	

	<p>JARD2001 対応栄養アセスメントキット(発売元: Nutrition Assessment)</p>
<p>参考図書・教材 /データ ベース・ 雑誌等の 紹介</p>	<p>日本栄養士会監修「栄養管理プロセス」(第一出版) 丸山千鶴子他編「栄養教育論」(南江堂) 赤松利恵・永井成美著「栄養カウンセリング論」(化学同人) 日本栄養士会編「管理栄養士・栄養士必携」(第一出版)</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>課題内容については、必要に応じてコメントをつけて返却する。 プレゼンテーション発表では、事前にルーブリックを渡して評価内容が分かるように提示する。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>栄養教育論1・2、栄養カウンセリング論、臨床栄養管理学、栄養治療学1・2を復習し、理解したうえで授業に臨む姿勢が必要です。 栄養教育を実施するには、これまで学んだ科目を関連づけて対象者の課題を的確に把握し、行動変容できるよう支援する知識・技術が必要です。また対象者に対応する態度も重要となります。栄養カウンセリング論で学んだ内容を基に、ロールプレイングを通して、コミュニケーションスキル、カウンセリングスキルを高めていきましょう。</p>